

B 型肝炎ワクチン

接種回数・接種量

	接種回数	接種量
任意接種	3 回 (4 週間隔で 2 回、6～12 カ月後に追加 1 回)	0.5 ミリリットル皮下注射

B 型肝炎ワクチンについて

- 世界では多くの国が小児期の定期接種として接種しているワクチンです。
- B 型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝炎で、急性肝炎で治る方もいますが、劇症肝炎になったり、慢性肝炎、肝硬変、肝がんに進捗して命を落とす方がいます。一旦治った方でも、免疫が落ちた時にウイルスが再活性化する危険があります。
- 感染経路は体液(主に血液)です。出産、輸血、性行為などで感染が広がります。唾液、涙でもまた感染することがあります。海外での衛生状態の悪い医療で感染することもあります。
- 全ての人にお勧めのワクチンです。

成人の方、海外渡航の方へのワクチン接種

成人の方も仕事等で外傷のリスクが高い方、医療関係者、家族が B 型肝炎ウイルス抗原陽性(キャリア)の方、海外長期滞在の方には接種をお勧めします。